

2024～2025年度 小倉中央ロータリークラブ週報

第1353回 例会

10月7日(月)

本日の卓話 「家庭集会報告」



例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

会長の時間 (9月30日 1352回 例会記録)

河野会長

出席報告 9月30日

さて、私は野球はあまり詳しくありませんが、晩年は野球解説者として活躍された野村克也さんが、言われていた、「人間3人の友を持って」という言葉があります。

「直言してくれる人」、「原理原則を教えてくれる人」、そして「師と仰ぐ人」の3人の事です。今回から数回に分けて私の人生で出会った師と仰ぐ人物について話したいと思います。

まず一人目は手前味噌で恐縮ですが、私の母親についてです。身内を褒めるのは気が引けますが、父と母が亡くなり一人で会社を切り盛りしなくては、ならなくなった時、時として壁にぶつかり失敗もします。失敗の方が多いですが、そんな時、仕事や従業員に対する母の姿勢を思い出して頑張っている次第です。

母は門司港で港湾関係の会社の社長の長女として生まれ、比較的恵まれた暮らしをしていましたが、女学性の頃に父親の会社が上手くいかなくなります。そんな時、父との見合い話があり、映画館を経営している会社の奥様になれる、毎日好きな映画が見られる、と二つ返事で父の元に嫁いで来たそうです。

ところが、嫁いで数日たったころ、私の祖父、創業者の河野音五郎から「喜美ちゃんいつまで家におるんかい、はよ出てきて売店を手伝わんかね」と、また祝日に家で寛いでいると、「人が遊んどるときに働かんでどうする」と仕事に駆り出されました。お嬢様だった母にとって、ブラックもブラック真っ黒黒の会社に嫁いで来たようです。ちなみに喜美ちゃんとは母の名前です。その時から彼女の365日、休みの無い日々が始まりました。

今でもそうですが映画館に休日はありません。父は外に出て配給会社の接待でほとんど会社にはいません。当時、市内に7つの映画館がありましたが、今のようなシネコンではありませんので全館を入れるとそれなりの数の従業員もいたようです。興行会社ですから、やんちゃな従業員もいます。そんな中、人事から経理まで、すべてを彼女が取り仕切るのです。毎日映画を見るところか、朝出ていったら映画が終わる夜の9時過ぎまで帰ってきません。そんな生活が、毎日続きます。

私が小学生の頃、母の久しぶりの休みの日に学校を休んで、平日の人気のない到津遊園地に行ったことがありましたが、疲れている母を一人ベンチに残して遊んだのを覚えています。

晩年、母に苦勞の連続だったねと、ねぎらいの言葉をかけたところ、自分の実家はもう無くなったけれど、あの家のお嬢さんが嫁いだ先の会社が傾いたと言われたら、世間に顔向けができないからね、と。母の実家は無くなりましたが、嫁ぎ先の家業を栄えさせるため365日、休みなく働き続けた母の人生は何だったのかと思うこともありました。しかし、彼女にとってはそれが生きがいだったのかもしれない。

親孝行らしいことは何もできませんでしたが、その母も70歳を前に亡くなり、会社を引き継いだ私も65歳、ぼちぼち次の世代に引き継ぐ年齢ですが、あの仕事に向き合う母の姿勢だけは次の世代に繋いでいきたいと思っています。

在籍会員数	44名
義務出席者	41名
ゲスト	1名
ビジター	0名
本日出席数	33名
本日出席率	80.48%
前々回修正出席率	93.18%

次回(10月17日)は、
観月会です。

場所:ブリランテ 時間:18:30～

10月のお誕生日

7日 北垣 友和会員

19日 湯口 義博会員

21日 吉田 裕彦会員

31日 白石 晴美会員

今月の主な予定

5日(土) 国際奉仕委員長会議

7日(月) 定例理事会

歴代会長会議

親睦活動委員会

12日(土) 野球大会

19日(土) 奉仕デー

20日(日) 双葉学園との交流会

22日(火) 社会奉仕委員長会議

四つのテスト ～ 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

幹事報告

北垣幹事

・家庭集会の実施にご協力をいただきまして、ありがとうございます。お陰様で参加率 83.7%でした。来週（10/7）に報告があります。担当の方は、ひとり3分程度でお願いします。

卓話の時間

「スポーツの力で、まちをもっと元気に！
～SDGsとスポーツが描く、持続可能な北九州～」
ボルクバレット北九州 GM 宮谷 直樹 氏



皆様、こんにちは。ボルクバレット北九州のGMを務めております宮谷と申します。本日は、北九州市におけるスポーツの役割、特にフットサルを通じて地域社会に貢献したいという思いを、皆様と共有できればと思います。

近年、スポーツは単なる娯楽を超え、社会課題解決の一翼を担う重要な役割を担っています。国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）においても、スポーツは健康増進、社会の包摂、平和の促進など、多岐にわたる目標達成に貢献すると位置づけられています。

北九州市は、素晴らしい自然と歴史、そして活気あふれる都市です。しかし、少子高齢化や人口減少といった課題を抱えています。スポーツの力を通じて、これらの課題を解決し、より住みやすいまちにしていけるのではないのでしょうか。

ボルクバレット北九州では、フットサルを通じて、地域の人々と繋がり、子どもたちの育成、健康増進、地域活性化に取り組んでいます。具体的には、地域貢献：地域の学校やスポーツ団体と連携し、フットサル教室やイベントを開催
社会貢献：ボランティア活動や地域清掃活動への参加
SDGs 達成への貢献：環境に配慮した活動、多様性と包摂性を重視したチームづくりなど、様々な活動を行っています。

スポーツを通じた地域貢献は、単に運動をするだけでなく、人々の心を繋ぎ、コミュニティを活性化させる力を持っています。

また、スポーツを通じて、子どもたちは協調性、リーダーシップ、問題解決能力といった社会で生きていく上で必要な力を養うことができます。SDGsの観点から見ると、スポーツは、健康と福祉、質の高い教育、ジェンダー平等、そしてパートナーシップなど、多岐にわたる目標に貢献することができます。また、CSR（企業の社会的責任）やCSV（共有価値の創造）という観点からも、スポーツを通じた地域貢献は、企業のブランドイメージ向上や新たなビジネスチャンス創出につながると考えられます。

北九州市は、スポーツの力を活かして、より持続可能な社会を実現できる可能性を秘めています。私たちボルクバレット北九州は、今後も地域社会の一員として、スポーツを通じて貢献し、北九州市の未来を共に創っていきたく考えています。

本日は、このような機会をいただき、誠にありがとうございました。



ニコニコ献金報告

累計 146,000円

河野・北垣会員—ボルクバレット北九州 GM 宮谷様、本日はありがとうございます。

河野・北垣会員—野村チーム、巫部チーム、細川チーム、狩野チーム、家庭集会お疲れ様でした。

鍋島会員—今日は、お休みして申し訳ありません。野村さん、よろしくお祈りします。

安木会員—申し訳ありません。少し早く、早退します。

合計 7,000円

